

頁	更新箇所	2024年3月29日版	2024年5月21日版
---	------	-------------	-------------

I 概要とスケジュール

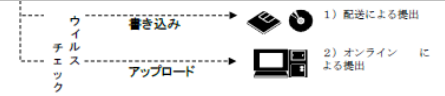
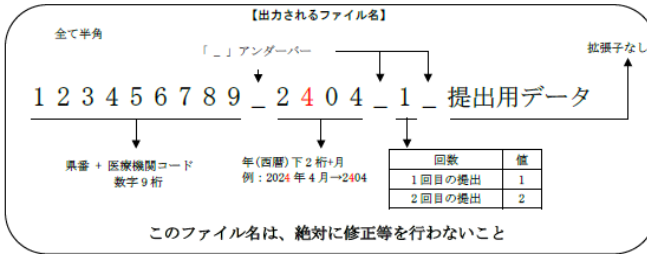
-			
---	--	--	--

II 各様式と入力要領

13	(2) 配送によるデータ提出	配達事業者	配達形態	可否	備考
		佐川急便株式会社	飛脚メール便	×	配送方法の要件②を満たしていないため
			宅配便・航空便	○	
			飛脚特定信書便	○	
			飛脚ジャストタイム便	○	
		西濃運輸株式会社	宅配便・航空便	○	
			日本通運株式会社	宅配便・航空便	○
		福山通運株式会社	宅配便・航空便	○	
			ヤマト運輸株式会社	クロネコDM便	×
		ネコポス		×	配送方法の要件②を満たしていないため
		宅急便コンパクト		○	
宅配便・航空便	○				

19	データ提出に係る通則的な事項	データ提出に係る通則的な事項	データ提出に係る通則的な事項
		<p>データ提出に係る通則的な事項</p> <p>※括弧内は該当する医療機関のみ作成 ※適宜、バックアップを取得すること</p>	<p>データ提出に係る通則的な事項</p> <p>【2024年4月、5月分提出用データの作成方法】 2024年4月、5月分提出用データは、以下のフローに則り提出用データを作成し提出することとする。</p>

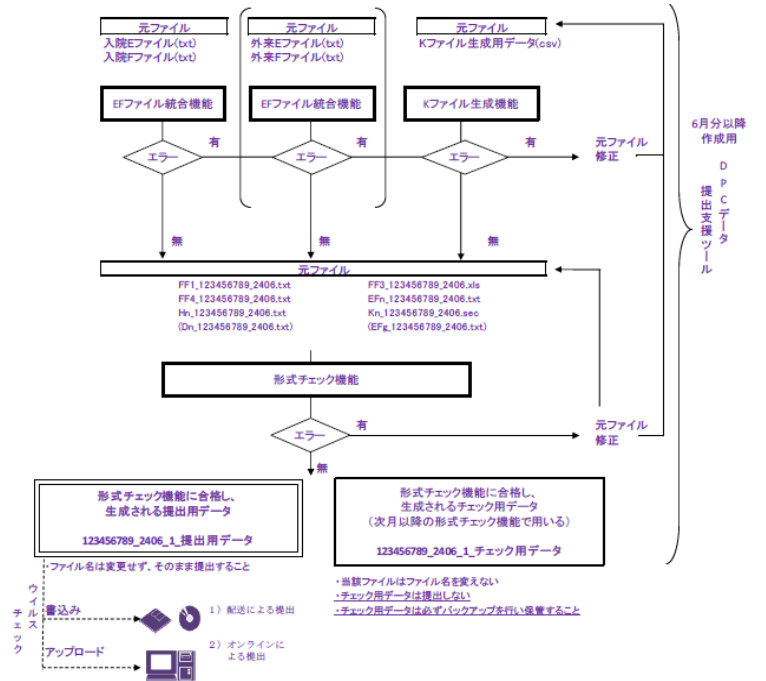
※オンライン提出を希望する医療機関については1)若しくは2)の提出形態を選択する(両者で提出する必要はない)  
 ※形式チェック機能にかけた後、エラーがあった場合(ワーニングエラー除く)は必ず修正し、再度形式チェック機能にかけ、出力された提出用データをそのまま提出すること。



※括弧内は該当する医療機関のみ作成  
 ※適宜、バックアップを取得すること  
 ※オンライン提出を希望する医療機関については1)若しくは2)の提出形態を選択する(両者で提出する必要はない)  
 ※形式チェック機能にかけた後、エラーがあった場合(ワーニングエラー除く)は必ず修正し、再度形式チェック機能にかけ、出力された提出用データをそのまま提出すること。

【2024年6月分以降の提出用データの作成方法】

提出用に用いる「提出用データ」と形式チェック機能で用いる「チェック用データ」を生成させる作成方法をとる。  
 2024年6月分以降のチェックは、以下のフローに則り提出用データを作成し提出することとする。



※括弧内は該当する医療機関のみ作成  
 ※適宜、バックアップを取得すること  
 ※オンライン提出を希望する医療機関については1)若しくは2)の提出形態を選択する(両者で提出する必要はない)  
 ※形式チェック機能にかけた後、エラーがあった場合(ワーニングエラー除く)は必ず修正し、再度形式チェック機能にかけ、出力された提出用データをそのまま書き込みして提出すること。  
 ※形式チェック機能にかけた後に生成される「チェック用データ」は、次月以降の形式チェック機能で用いるため、貴院にて保管すること。



頁	更新箇所	2024年3月29日版	2024年5月21日版
68	A004030 栄養情報 ③、⑤ 低栄養の有無(様式1開始日時点、様式1終了日時点) 1-2.低BMI	<p>・A004030 栄養情報            親様式1・子様式1の各々について入力すること。            ③、⑤ 低栄養の有無(様式1開始日時点、様式1終了日時点)            入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。            様式1開始日・様式1終了日時点において、GLIM基準に基づき、下記の入力方法に則って入力する。            なお、本調査年度においては任意入力とする。</p> <div data-bbox="600 347 1265 694"> <p>＜入力項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 低栄養</li> <li>1-1. 意図しない体重の減少</li> <li>1-2. 低BMI</li> <li>1-3. 筋内量減少</li> <li>1-4. 食事摂取量減少/消化吸収能低下</li> <li>1-5. 疾患負荷/炎症</li> </ul> <p>＜入力方法＞</p> <p>1 1 0 0 0 1</p> <p>1-1. 意図しない体重の減少            "0": 該当しない            "1": &gt;5% 過去6か月以内            "2": &gt;10% 過去6か月以上</p> <p>1-2. 低BMI            "0": 該当しない            "1": &lt;18.5: 70歳未満            "2": &lt;22: 70歳以上</p> <p>1-3. 筋内量減少            "0": 該当しない            "1": 筋内量減少</p> <p>1-4. 食事摂取量減少/消化吸収能低下            "0": 該当しない            "1": 1週間以上、必要栄養量の50%以下の食事摂取量            "2": 2週間以上、様々な程度の食事摂取量減少            "3": 消化吸収に悪影響を及ぼす慢性的な消化管の状態</p> <p>1-5. 疾患負荷/炎症            "0": なし            "1": 急性疾患や外傷による炎症            "2": 慢性疾患による炎症</p> <p>例えば、GLIM基準による判定で低栄養に該当="1"、該当項目として意図しない体重の減少が&gt;5% 過去6か月以内="1"、低BMI =&lt;18.5: 70歳未満 = "1"、筋内量減少が該当しない="0"、食事摂取量減少/消化吸収能低下が食事摂取量&lt;=50%="1"、疾患負荷/炎症がなし="0"の場合は、"111010"と入力する。</p> </div>	<p>・A004030 栄養情報            親様式1・子様式1の各々について入力すること。            ③、⑤ 低栄養の有無(様式1開始日時点、様式1終了日時点)            入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。            様式1開始日・様式1終了日時点において、GLIM基準に基づき、下記の入力方法に則って入力する。            なお、本調査年度においては任意入力とする。</p> <div data-bbox="1361 327 2116 710"> <p>＜入力項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 低栄養</li> <li>1-1. 意図しない体重の減少</li> <li>1-2. 低BMI</li> <li>1-3. 筋内量減少</li> <li>1-4. 食事摂取量減少/消化吸収能低下</li> <li>1-5. 疾患負荷/炎症</li> </ul> <p>＜入力方法＞</p> <p>1 1 0 0 0 1</p> <p>1-1. 意図しない体重の減少            "0": 該当しない            "1": &gt;5% 過去6か月以内            "2": &gt;10% 過去6か月以上</p> <p>1-2. 低BMI            "0": 該当しない            "1": &lt;18.5: 70歳未満            "2": &lt;20: 70歳以上</p> <p>1-3. 筋内量減少            "0": 該当しない            "1": 筋内量減少</p> <p>1-4. 食事摂取量減少/消化吸収能低下            "0": 該当しない            "1": 1週間以上、必要栄養量の50%以下の食事摂取量            "2": 2週間以上、様々な程度の食事摂取量減少            "3": 消化吸収に悪影響を及ぼす慢性的な消化管の状態</p> <p>1-5. 疾患負荷/炎症            "0": なし            "1": 急性疾患や外傷による炎症            "2": 慢性疾患による炎症</p> <p>例えば、GLIM基準による判定で低栄養に該当="1"、該当項目として意図しない体重の減少が&gt;5% 過去6か月以内="1"、低BMI =&lt;18.5: 70歳未満 = "1"、筋内量減少が該当しない="0"、食事摂取量減少/消化吸収能低下が食事摂取量&lt;=50%="1"、疾患負荷/炎症がなし="0"の場合は、"111010"と入力する。</p> </div>
69	A004030 栄養情報 QA追加		<div data-bbox="1370 885 2116 973"> <p>Q&amp;A</p> <p>Q: 小児の評価方法はどのようにするのか。            A: GLIM 基準は成人の低栄養診断基準になるので、入力不要とする。</p> </div>
70	A004040 転倒・転落 URL	<p>○公益財団法人 日本医療機能評価機構 厚生労働省補助事業 医療の質向上のための体制整備事業  <a href="https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/02/20ad5842479fd5b51b8f0990fd82c18.pdf">https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/02/20ad5842479fd5b51b8f0990fd82c18.pdf</a></p>	<p>○公益財団法人 日本医療機能評価機構 厚生労働省補助事業 医療の質向上のための体制整備事業  <a href="https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/08/FY23_keisoku_te_jun_20230801.pdf#page=16">https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/08/FY23_keisoku_te_jun_20230801.pdf#page=16</a></p>
104	M040031 救急医療入院患者/P/F比 ④ 救急受診時のFiO2	<p>④ 救急受診時のFiO2 (A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院が"3**"の場合、M040031 救急医療入院患者/P/F比 ③救急受診時の酸素投与の有無が"1"の場合は入力)            救急受診時のFiO2を%で記入する。最大値は"100"として扱い、不明の場合は"999"と入力する。            例 FiO2が55% → 55</p>	<p>④ 救急受診時のFiO2 (M040031 救急医療入院患者/P/F比 ③救急受診時の酸素投与の有無が"1"の場合は入力)            救急受診時のFiO2を%で記入する。最大値は"100"として扱い、不明の場合は"999"と入力する。            例 FiO2が55% → 55</p>

頁	更新箇所	2024年3月29日版	2024年5月21日版																
106	M050041 心不全患者/血行動態的特徴 ② 救急受診時の収縮期血圧 ③ 救急受診時の循環作動薬の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M050041 心不全患者/血行動態的特徴 「A006030 診断情報/医療資源 ②ICD10コード」のいずれかがI110、I130、I132、I50\$の場合、又は「A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院」が“334”の救急医療入院（心不全で重篤な状態）、“324”の救急医療入院（心不全で重篤な状態に準ずる状態）の場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> <li>② 救急受診時の収縮期血圧（A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院が“334”の救急医療入院（心不全で重篤な状態）、“324”の救急医療入院（心不全で重篤な状態に準ずる状態）の場合は入力する） 救急受診時の収縮期血圧を“1”～“3”までの値により入力する。救急受診時の初回測定値を入力すること。  <table border="1" data-bbox="638 375 824 443"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>100mmHg未満</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>100mmHg以上、140mmHg以下</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>140mmHg超</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>③ 救急受診時の循環作動薬の使用（A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院が“334”の救急医療入院（心不全で重篤な状態）、“324”の救急医療入院（心不全で重篤な状態に準ずる状態）の場合は入力する） 救急受診時に循環作動薬を使用した場合は“1”を、使用しなければ“0”を、使用したか不明であれば“9”を入力する。</li> </ul>	値	区分	1	100mmHg未満	2	100mmHg以上、140mmHg以下	3	140mmHg超	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M050041 心不全患者/血行動態的特徴 「A006030 診断情報/医療資源 ②ICD10コード」のいずれかがI110、I130、I132、I50\$の場合、又は「A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院」が“334”の救急医療入院（心不全で重篤な状態）、“324”の救急医療入院（心不全で重篤な状態に準ずる状態）の場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> <li>② 救急受診時の収縮期血圧（A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院が“334”の場合は入力） 救急受診時の収縮期血圧を“1”～“3”までの値により入力する。救急受診時の初回測定値を入力すること。  <table border="1" data-bbox="1413 375 1621 443"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>100mmHg未満</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>100mmHg以上、140mmHg以下</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>140mmHg超</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>③ 救急受診時の循環作動薬の使用（A000020入院情報 ⑤予定・救急医療入院が“334”の場合は入力） 救急受診時に循環作動薬を使用した場合は“1”を、使用しなければ“0”を、使用したか不明であれば“9”を入力する。</li> </ul>	値	区分	1	100mmHg未満	2	100mmHg以上、140mmHg以下	3	140mmHg超
値	区分																		
1	100mmHg未満																		
2	100mmHg以上、140mmHg以下																		
3	140mmHg超																		
値	区分																		
1	100mmHg未満																		
2	100mmHg以上、140mmHg以下																		
3	140mmHg超																		
112	M170030 退院に向けた会議の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170030 退院に向けた会議の開催状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 なお、ここで入力対象とする「退院に向けた会議」とは、当該患者の退院に向けた支援の内容について、当該患者又は当該患者の支援に関わる者間で話し合わせ、その記録が診療録に記載されているものとする。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170030 退院に向けた会議の開催状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料若しくは地域移行機能強化病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 なお、ここで入力対象とする「退院に向けた会議」とは、当該患者の退院に向けた支援の内容について、当該患者又は当該患者の支援に関わる者間で話し合わせ、その記録が診療録に記載されているものとする。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>																
112	M170040 個別支援の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170040 個別支援の実施状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170040 個別支援の実施状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料若しくは地域移行機能強化病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>																
112	M170050 外出又は外泊の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170050 外出又は外泊の実施状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170050 外出又は外泊の実施状況 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料若しくは地域移行機能強化病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>																
113	M170060 障害福祉サービス等の連携に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170060 障害福祉サービス等の連携に関する情報 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M170060 障害福祉サービス等の連携に関する情報 精神病棟グループに属する入院がある場合又は、精神療養病棟入院料若しくは地域移行機能強化病棟入院料を算定した期間が様式1開始日から様式1終了日までの間にある場合は入力必須となる。 入院年月日が2024年6月1日以降の場合に入力する。</li> </ul>																
141	① 看護必要度判定対象 Q&A追加		<p>Q:2024年度改定に伴い、一般病棟用は短期滞在手術等の場合も看護必要度の対象になりました。短期滞在手術を実施した場合TAR0010は、「1:短期滞在手術等基本料算定症例」と「0:重症度、医療・看護必要度判定対象」のどちらを選択するのか。 A:複数に該当する場合は番号の小さい方を選択する仕様です。評価対象であり、かつ短期滞在手術等基本料の症例であれば、「0:重症度、医療・看護必要度判定対象」を優先して選択ください。</p>																
III 関係資料																			